

シンナガサキミーティング開催レポート

i n 山里小学校区



令和7年7月26日（土）、自治会、商店街、NPO法人ひだまり会、相談支援センター、長崎大学から18人の皆さんにお集まりいただき、山里小学校区の「シンナガサキミーティング」を開催しました。

自己紹介では、子供達がたくさん参加できる行事などのイベントを地域で行っていることや、自治会や大学で活動していることなどをお話いただきました。



いただいたご意見

①学生と社会人や企業との交流機会増進について

学生が社会人と交流する機会が希薄で、長崎市そのものについてあまり知らず、大学生の転出理由になっているのではないかと考えるため、社会人や企業と交流できる機会を増やして欲しい。

市の考え方 回答

長崎創生プロジェクトである「NAGASAKI KAKKI」を通じて、令和6年8月より、毎月1回以上学生と企業の交流イベントを開催するとともに、令和7年度においては、長崎大学と連携して、大学の授業の中で学生が地元企業を取材し、学生向けに取材企業のPR活動を行うなど、学生と地元企業が交流する機会の創出に努めております。

令和8年度については、例月の交流イベントの開催頻度を増やすとともに、域内における長崎大学以外の大学などへの連携拡大や県外の専門学校に通う学生との交流を検討しているところです。

②放課後児童クラブの不足について

共働きをする家族が増えているが、長崎は放課後児童クラブが少なく、放課後児童クラブに入れない子供が多いため、放課後児童クラブの数を増やして欲しい。

市の考え方

放課後児童クラブについては、「長崎市こども計画」において、小学校区ごとに利用児童数を見込み、必要数のクラブを設置しているところです。

回答

また、次年度の受入見込児童数について、放課後児童クラブに調査を行い、待機児童が発生する可能性があるクラブ（小学校区）については、受入児童数の拡充に向けて調整を行うなど、必要な対応を進めています。

③バリアフリー化について

横断歩道を渡るのに車いすで渡り切れない距離であったり、気づきにくいバリアフリーになっていないところがあるので改善して欲しい。

市の考え方

令和3年に長崎市バリアフリーマスタープラン及び長崎市第2期バリアフリー基本構想を定め、電停などの旅客施設を中心とした重点整備地区内において、各施設管理者のもとバリアフリー化を推進しているところです。

回答

今後も、地域住民のご意見を伺いながら、施設管理者や障害者団体などの関係団体で構成する「長崎市移動等円滑化推進協議会」で情報を共有し、だれもが安全・安心・快適にすごせる長崎市を目指して参りますので、引き続きご協力下さるようよろしくお願いします。

④高規格道路建設に伴う市民プールや松山陸上競技場の移転・縮小問題について

時津町方面の渋滞緩和のために高規格道路を建設する話が具体化されているが、市民プールや松山陸上競技場の移転・縮小問題が生じている。市民の憩いの場を無くして道路建設を行うのか、市の考えを教えて欲しい。

市の考え方

市民総合プールは陸上競技場の場所へ、陸上競技場の400mトラックは中部下水処理場跡へ移転する計画です。現在の陸上競技場については、ジョギングや散歩で多く利用されている外周路を現状規模の600m程度で引き続き確保し、新プールの隣に約8,000㎡の広場も整備予定です。

回答

そのほか、「屋内施設にエアコンを整備して欲しい」、「海岸清掃の際に粗大ごみが目立っている」などのご意見や「平和への取組や地域貢献にできることを教えて欲しい」などのご意見をいただきました。

いただいたご意見は、担当部局と共有し、今後の市政運営に活かしていきます。

鈴木市長のひと言

山里小学校区の課題や魅力を聞くことができました。幅広い世代の皆さんに来てもらったので、世代間交流としても意義のある場になったと思います。

これをきっかけに世代を超えた連携を行い、更なる地域活性化に役立てていただくとともに、長崎市としても地域活性化に取り組んでいきます。



参加者からの感想

地域の様々な立場の方と交流できてよかった。
交流を通して課題や地域への貢献方法が見いだせた。
定期的に開催して欲しい。

意見を出し合いそれぞれ自治会活動を頑張っていることが分かった。要望を市政に役立てて欲しい。

地区の魅力を再発見できた。
市長も真剣に耳を傾けてくれて優しかった。

学生の視点からだけではわからなかった問題等も知ることができ、新鮮だった。

